



日光だいや川公園

NIKKO DAIYAGAWA PARK

ヤマユリマップ

ヤマユリ・ユリの園芸品種
あわせて約7000本！

公園内を巡って、
ヤマユリやユリの仲間たちを探しに行ってみましょう。



男体山
大真名子山
小真名子山
女峰山

文化・創作体験エリア

至日光

県道 248 号線

見晴台

西駐車場

だいや体験館

体験農場

自然体験エリア

小鳥の森

とんぼ池

ふるさとの森

交流エリア

やまみの丘

そよかぜ広場

フィールドアスレチック

緑の相談所
(管理事務所)

やすらぎの池

こじかの森

くるみの森

見晴橋

至今市

クラブハウス

チョウの丘

ニュースポーツ広場エリア

大駐車場

花どけい

だいやの森 旬菜館

ちびっこ広場

うどん・そば処 だいや食堂

インフォメーションエリア

- ヤマユリ
- ウバユリ
- チゴユリ
- ヤブラン
- ナルコユリ
- ヤブカンゾウ
- スカシユリ
- ニッコウキスゲ

ナルコユリ
開花：5～6月中

ウバユリ
開花：7月

ヤブカンゾウ
開花：7月

ニッコウキスゲ
開花：5～6月

ヤマユリ
開花：7月

チゴユリ
開花：5月

スカシユリ
開花：6～7月

ヤブラン
開花：7月

※気候・時期により見られない種類もあります。※よく見られる場所を○で囲っています。
 ※公園内の植物は全て、県営都市公園「日光だいや川公園」が保護・管理しています。
 大切に、ご鑑賞ください。 日光だいや川公園管理事務所 0288-23-0111



日光だいや川公園 ユリとその仲間たち

※時期や気候によって、見られない種類もあります。

ヤマユリ (山百合)		ユリ科ユリ属
場所	● 緑の相談所東側周辺 ● くるみの森周辺 林内各所 ● 県道248号線道路沿い 園内7000本以上	
特徴	日本特産。オリエンタル系の数々の品種の親となったユリの女王。地中の鱗茎（百合根）は食用になる。茎先に咲く花は強い芳香がある。花弁は6枚に見えるが、外側の3枚は萼（がく）が変形したもの、内側の3枚が本来の花弁。白地の中に太い黄色い筋と赤い斑点がある。	

スカシユリ (透百合) 系品種		ユリ科ユリ属
場所	● やすらぎの池東 ● ふるさとの森 ● そよ風広場南	
特徴	多くは上向きに花が咲く。鮮やかな黄色やオレンジなどカラフルな花色。 アジアティック・ハイブリッドと呼ばれ、ユリの中では丈夫で育てやすい。	

ウバユリ (姥百合)		ユリ科ウバユリ属
場所	● 緑の相談所東側周辺 ● くるみの森 ● 体験農場西側 北の流れ	
特徴	テッポウユリのような花。 花は茎の上部に数個横向きにつく。 長さ7~10cmで芳香があり、茎の途中にまとまってつく。	

ニッコウキスゲ (日光黄菅)		ワスレグサ科ワスレグサ属
場所	● ニュースポーツ広場北 ● チョウの丘北側東屋付近	
特徴	山地などに生える多年草。 日光地方に多いということからその名がついた。 花は朝開花して夕方しぼむ一日花。ただし花は次々と咲く。 別名：禅庭花（ゼンテイカ） ※以前はユリ科に分類されていた	

ヤブカンゾウ (藪萱草)		ワスレグサ科ワスレグサ属
場所	● 西駐車場東側エリア ● 体験館東側エリア ● 公園西側線路沿い東	
特徴	古い時代に中国から渡来したと考えられている。 花は八重咲き。 直立した花茎の先で分岐し、径約8cmの橙赤色の花が数個つく。 ※以前はユリ科に分類されていた	

チゴユリ (稚児百合)		イヌサフラン科チゴユリ属
場所	● ふるさとの森 ● 出会いの散歩道 ● くるみの森周辺	
特徴	茎は高さ15~30cmで、枝分かれしない。 葉は長楕円形で長さ4~7cm、幅1.5~3.5cm。 春、茎に1~2個の花を垂れてつける。 花びらは白色で長さ1~1.5cm。花の後に黒い液果（実）をつける。 ※以前はユリ科に分類されていた	

ヤブラン (藪蘭)		キジカクシ科ヤブラン属
場所	● 駐車場南西側 ● チョウの丘北側東屋付近	
特徴	多年草。細長い葉で、花は淡紫色の楕円形で茎に多数つく。 花の後は黒い実をつける。 ※以前はユリ科に分類されていた	

ナルコユリ (鳴子百合)		キジカクシ科アマドコロ属
場所	● 体験農場西側	
特徴	5~6月ごろ、筒状の淡緑白花を2、3個つける。 太い地下茎を横たえ、年ごとに節をつくる。 花の後、紫黒色の実をつける。 ※以前はユリ科に分類されていた	



日光だいや川公園
NIKKO DAIYAGAWA PARK

環境保護へのご協力
ありがとうございます。